

章	6	構想の推進のために
大項目	02	参加と協働のまちづくりの推進
施策	01	参加と協働のまちづくりの推進

**目的**

区民の区政への参画意識の一層の高揚と、特別区債の資金調達手法の多様化を図ります。

**対象・手段**

区民が区が実施する特定の施設整備や事業について、直接投資できる仕組みとして市場公募型の特別区債の発行に取り組めます。

**施策の方向**

区民のまちづくりへの参加意識や事業への監視・チェック意識が高まることが期待できます。資金調達手段が多様化するとともに、区民の行政への意識を高めることにつながります。

**成果指標**

指標名		定義		目標水準		
区民参加型ミニ市場公募債の発行		落合第二特別出張所等区民施設建設公募債発行		(平成18年度に1回)	年度に1回の水準達成	
				( )	年度に( )の水準達成	
				( )	年度に( )の水準達成	
施策の達成状況						
		単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考
施策成果指標	目標値1	回			1.00	
	実績1	回			1.00	
	目標達成率1 = /	%			100.00	
	目標値2					
	実績2					
	目標達成率2 = /					
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

**主な取組み**

IR活動(投資家への財務情報提供)の一環として、区の財政に関するリーフレットを作成するとともに、落合第二区民センター建設を目的とした住民参加型市場公募債(新宿夢まち債 発行額:293百万円)を発行しました。

**課題**

区民の行政参加意識の高揚とともに、地方債の個人消化及び資金調達手法の多様化を図る趣旨から、今後とも効果的な「住民参加型市場公募債」について研究を進める必要があります。区民にとって市場公募債の商品性の向上と合せ、発行条件や調達コストについても他自治体の例を参考にしながら、さらに検討を行うことが重要です。

**評価**

総合評価	
計画どおり、平成18年度に「落合第二特別出張所等区民施設建設」の資金として、住民参加型市場公募債(新宿夢まち債)を発行することができました。	B

**今後の取組み・改革の方針**

地方債市場の動向及び新たな実行計画の策定を踏まえ、住民参加型市場公募債に適する事業を選定します。具体的な実践を通し、今後の直接金融による資金調達手法のノウハウを蓄積していきます。

**施策を構成する計画事業**

	総合評価	頁	総合評価	頁
区民参加型ミニ市場公募債の発行	B	273		